

# 九州ルーテル学院大学

## Teaching Portfolio

### 2020



所 属： 心理臨床学科

名 前： 西 章男

作成日：2020年10月20日

## 九州ルーテル学院大学 ティーチング・ポートフォリオ（案）

教員氏名：西 章男

所属：人文学部 心理臨床学科

### 1. はじめに

本学での働き等について

### 2. 教育の責任

私は心理臨床学科に所属しソーシャルワークの基礎に関する講義及び演習を中心に担当している。またボランティアセンター担当として、ボランティアに関連する講義や体験学修を担当するとともに、ボランティアコーディネートを担当している。

#### 2.1. 授業科目の担当

2018年～2020年度の3年間は以下の表の科目を担当している。

科目名	開講年度時期	履修者数	備考
ボランティア学修論	1年前期	1年全員	必修科目
ソーシャルワーク論	1年講義	心理臨床学科全員	学科必修、他学科選択
地域福祉論	2年前期	50人	選択
精神保健福祉援助演習Ⅰ～Ⅲ	3年後期～4年後期	20人	選択
精神保健福祉援助実習指導	3年後期～4年後期	15人	選択
相談援助	3年後期	30人	子ども専攻必修
ボランティア体験学修	1年後期	50人	選択
介護等体験	3年後期	50人	選択

#### ■ 主要担当科目

- ・ボランティア学修論

本学の建学の精神である「感恩奉仕」に基づいた科目

- ・ソーシャルワーク論

心理臨床学科における福祉基礎科目

#### 2.2. 教育組織運営

宗教委員、地域連携推進委員

### 3. 教育の理念

利用者・当事者・地域から学ぶ

### 4. 教育の方法

教育理念との関係では以下の点を重視した教育方法を取っている。

#### 4.1. 現場へ出向くこと

#### 4.2. 当事者の声を聞くこと

### 5. 教育改善のための努力

5.1. 改善努力1 学生自身が主体的に参加し、考えることができるような講義の組み立て

5.2. 改善努力2 直接学生の声を聞く努力

### 6. 教育の成果・評価

積極的に参加・発言する学生が多くなってきている

### 7. 今後の教育に関する課題と目標

個別・合理的配慮を伴う学生への排除しない工夫の継続

### 8. 参考資料

#### (1) 担当科目シラバス

業の概要	ボランティア活動の意義を理解し、基盤となる価値、知識、技能の習得を目的とします。 講義ごとに自らのボランティア観を確認しながら、地域社会でのボランティア活動が行えるようになることを目的としています。		
授業計画	テーマ	1	ボランティア活動とは①
	講義内容	ボランティア活動の基盤	
	事前学修	自分のボランティア観について言語化できるよう準備	
	事後学修	事前学習のボランティア観と比較しふりかえる	
	テーマ	2	ボランティア活動とは②
	講義内容	ボランティア活動の範囲と対象(グループリーディング・ディベート)	
	事前学修	ボランティアをされる立場について考え準備	
	事後学修	立場によって異なる受け止め方についてふりかえる	
	テーマ	3	ボランティア活動の視点

講義内容	価値・倫理について(グループディスカッション・ディベート)	
事前学修	ボランティアをするにあたって大切なことを考え準備	
事後学修	ボランティアにおける価値や倫理についてふりかえる	
テーマ	4	ボランティア活動の視点
講義内容	ストレンクス視点の活用方法(ペアワーク)	
事前学修	「ストレンクス」について調べる	
事後学修	ストレンクス視点活用の意義についてふりかえる	
テーマ	5	障がいの理解
講義内容	障がいの受容過程(ペアワーク)	
事前学修	「障がい」について自分の言葉で説明できるよう準備	
事後学修	障がい受容について当事者視点でふりかえる	
テーマ	6	障がいの理解
講義内容	障がい者の社会参加(結婚・就労等)	
事前学修	「障がい者の社会参加」について自分の意見を準備	
事後学修	障がい者の社会参加について当事者視点でふりかえる	
テーマ	7	高齢者の理解
講義内容	介護体験(実習・演習)	
事前学修	「介護」について自分の言葉で説明できるよう準備	
事後学修	介護体験について当事者視点でふりかえる	
テーマ	8	児童の問題からの理解
講義内容	児童の権利	
事前学修	「児童の権利条約」について調べる	
事後学修	児童の権利と権利擁護の必要性についてふりかえる	
テーマ	9	国際ボランティア
講義内容	国際ボランティアの実際	
事前学修	国際的なボランティアの可能性について考えてくる	

事後学修	自分ができる国際ボランティアについて説明できるようにする	
テーマ	10	共生のための考え方
講義内容	エンパワメント	
事前学修	「エンパワメント」について調べる	
事後学修	エンパワメントについて事例を用いて説明できる	
テーマ	11	共生のための考え方
講義内容	ソーシャル・インクルージョン	
事前学修	「ソーシャル・インクルージョン」について調べる	
事後学修	ボランティアと共生の関係について説明できる	
テーマ	12	笑顔の力
講義内容	クリニックラウンの実践から学ぶ	
事前学修	「クリニックラウン」について調べる	
事後学修	笑顔の可能性についてふりかえる	
テーマ	13	「Patch・Adams」から学ぶ
講義内容	DVD 鑑賞	
事前学修	これまでの講義のキーワードを復習	
事後学修	DVD の内容をボランティアと関連付けてふりかえる	
テーマ	14	「Patch・Adams」から学ぶ
講義内容	DVD 鑑賞	
事前学修	これまでの講義のキーワードを復習	
事後学修	DVD の内容を講義内容と関連付けてふりかえる	
テーマ	15	試験
講義内容	講義内容の総括と理解事項の確認	
事前学修	試験に向けての学習	
事後学修	講義内容の定着状況を把握し課題を整理する	
テーマ	16	フィード

	<table border="1"> <tr> <td>講義内容</td> <td>全体のまとめと試験のフィードバック</td> </tr> <tr> <td>事前学修</td> <td>自分のボランティア観について再度言語化</td> </tr> <tr> <td>事後学修</td> <td>1回目と比較して自ら変化をふりかか</td> </tr> </table>	講義内容	全体のまとめと試験のフィードバック	事前学修	自分のボランティア観について再度言語化	事後学修	1回目と比較して自ら変化をふりかか
講義内容	全体のまとめと試験のフィードバック						
事前学修	自分のボランティア観について再度言語化						
事後学修	1回目と比較して自ら変化をふりかか						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分のボランティア観について具体的に説明できる」</li> <li>・「他者の痛みや苦勞に関心を持ち、自らができる可能性について考えることができる」</li> <li>・「ボランティア活動への関心と参加へのモチベーションをもつことができる」</li> </ul>						
履修の留意事項	<p>答えはひとつではないので積極的に自分の考えなどについての発言を期待します。</p> <p>この科目は事前・事後学修に毎回180分程度の時間が必要です。</p>						

## (2) 授業評価アンケート結果

<file:///C:/Users/AKIO%20NISHI/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/TD/JJMTDG/A3010.pdf>